

スペースワン株式会社と資本業務提携を締結
～和歌山県における人工衛星打上げ事業の推進～

2022年6月30日
関西電力株式会社
合同会社K4 Ventures

合同会社K4 Ventures^{*}（以下、K4V）は、本日、小型ロケットによる人工衛星打上げ事業に取り組むベンチャー企業「スペースワン株式会社」（以下、スペースワン）に対し、第三者割当増資による出資を行いました。当社グループとして、宇宙関連事業に取り組むベンチャー企業と資本業務提携を締結するのは初めてになります。

宇宙事業の中でも人工衛星は、観測・測位・通信などの幅広い分野での利活用が広がっていくと想定されることから、人工衛星およびその打上げはますます重要視されています。

スペースワンは人工衛星を搭載する小型ロケット（カイロス）の開発から打上げまでを一貫して担う企業であり、国内で唯一、自社運営のロケット打上げ射場（スペースポート紀伊）を保有しています。スペースポート紀伊は、本州最南端に位置する和歌山県串本町に位置し、打上げの軌道高度や、軌道傾斜角についても柔軟に対応できるという立地上の強みを持ちます。

今後、当社グループは、エネルギー供給・通信サービスで培ってきた技術・ノウハウを活かし、スペースワンと共に人工衛星打上げ事業を推進します。まずは、2022年末に予定されている、スペースワンのカイロス・ロケット初号機の打上げ成功を目指します。

当社グループは、今回の資本業務提携を足掛かりに宇宙領域における事業機会の探索に取り組んでまいります。

以上

※関西電力グループが革新的な技術やビジネスモデルを有するベンチャー企業との連携を強化するための投資主体

別紙：スペースワン株式会社との資本業務提携の概要

参考：宇宙領域に取り組む想い



スペースワン株式会社との資本業務提携の概要

2022年6月30日

関西電力株式会社

合同会社 K4 Ventures

スペースワン株式会社との資本業務提携の概要

スペースワン株式会社の概要



発 足	2018年7月
代表取締役社長	豊田 正和
本店所在地	東京都港区芝公園3丁目5番10号
事業概要	小型人工衛星に対する宇宙輸送サービスの提供

業務提携内容

【提携の目的】

- ロケットの打上げ及びロケット打上げ射場の運営に関する協業

【両社の役割】

- 関西電力グループ : ロケット打上げ及びロケット打上げ射場運営の支援
- スペースワン : ロケットによる人工衛星の打上げ及びロケット打上げ射場の運営

スペースワンの取組み

サービス概要

- 日本が長年に渡り蓄積してきたロケット技術を継承・活用することで、信頼性のある質の高い宇宙輸送サービスを提供。
- 自社専用の小型ロケット（カイロス）と打上げ射場（スペースポート紀伊）により、契約から打上げまでを「世界最短」、打上げの「世界最高頻度」で行う「宇宙宅配便」を目指す。
- スペースポート紀伊の南方、東方に開けた立地を活かして、多様な軌道へ人工衛星を打上げる、柔軟な宇宙輸送サービスを提供。
- 発足からこれまでに、スペースポート紀伊を完工し、現在、カイロス・ロケットの開発を進めており、年内の初号機打上げに向けて、鋭意、取組みを推進中。

小型ロケット（カイロス） のイメージ



全 長：約18m
全備重量：約23トン
打上能力：150kg（SSO、高度500km換算）

スペースワンの取組み

射 場

- 国内唯一の自社運営のロケット打上げ射場、『スペースポート紀伊』。
- 本州最南端の位置する和歌山県串本町に立地。
(南方及び東方が開けており、ロケットの打上げに適した位置) 【スペースポート紀伊のイメージ】



スペースポート紀伊

【カイロス打上げ時のイメージ】



参考



宇宙領域に取り組む思い

2022年6月30日
関西電力株式会社

宇宙インフラ※¹が“あたりまえ”に活用される社会に向けて

【新たな社会基盤となる宇宙】

気象衛星を用いた天気予報やGPS※²を用いたナビの利用など、現代においても宇宙からの情報は私たちの暮らしを便利で快適なものにしています。将来は、宇宙インフラを活用した新たなサービスや宇宙への移動なども日常的に行われるようになる可能性があります。

【関西電力グループのこれまでの取り組み】

関西電力グループは、これまで、人工衛星データを活用した太陽光発電電力量予測やインフラ監視の可能性の追求、宇宙太陽光発電の基礎技術となる無線電力伝送の実証実験等に取り組んできました。

【関西電力グループの想い】

宇宙インフラが“あたりまえ”に活用される社会の実現に向け、関西電力グループ全体の経営資源を活用し、宇宙領域における事業機会の可能性を探索します。

関西電力グループは、宇宙という新たなステージへ挑戦し続けます。

※¹：ロケットや人工衛星、宇宙ステーション、地上局等の機体・施設などから構成され、宇宙活動を効率的に行うための基盤的なシステム。

※²：Global Positioning System, Global Positioning Satellite（全地球測位システム）の略。
地球上の現在位置を測定するためのシステム。